

## 統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4.03.00 へのリビジョンアップのお知らせ

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop を V.4.02.00 から V.4.03.00 にリビジョンアップしました。

### 1. アップデート対象製品

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.3.00.00 ~ V.4.02.00

High-performance Embedded Workshopは、これと連携するコンパイラなどのソフトウェア製品にバンドルされています。

High-performance Embedded Workshopのバージョンは、メニューの「ヘルプ」から「High-performance Embedded Workshopのバージョン情報」を選択すると確認できます。

### 2. リビジョンアップ内容

#### 2.1 新機能および機能改善

##### (1) マクロ生成支援機能

Cウォッチウィンドウ、ASMウォッチウィンドウ、S/Wブレークポイント設定ウィンドウ、およびアドレス一致ブレークポイント設定ウィンドウでマクロ生成支援機能をサポートしました。

各ウィンドウでの操作をHigh-performance Embedded Workshopのコマンドラインのコマンドとして記録できるようになりました。

##### (2) テスト支援機能

CウォッチウィンドウおよびASMウォッチウィンドウで、テスト支援機能をサポートしました。テスト支援機能設定用のダイアログボックスでこれらのウィンドウ内容の中からテスト支援機能比較用のファイルに保存する項目を選択できるようになりました。

##### (3) Cウォッチウィンドウの改善

- (a) 変数をスコープ別に参照できるようになりました。スコープとして、ファイルローカルおよびグローバルを追加しました。これにより、異なるスコープにある同名の変数を参照できます。
- (b) 変数のアドレスを表示できるようになりました。

- (c) ウィンドウ内で変数のアドレスをRAMモニタ領域に容易に配置できるようにしました。
- (d) 変数名をインプレース編集できるようにしました。
- (e) 変数がRAMモニタ領域内であれば、プログラム実行中に変数値をファイルに出力できるようにしました。
- (f) 変数を最初に表示するときの値の基数を選択できるようにしました。デフォルト、2進数、または16進数から選択できます。
- (g) 16進数で変数値を表示する場合、上位桁の"0"の表示、非表示を選択できるようにしました。
- (h) 表示内容をWindows(R)クリップボードにコピーできるようにしました。

**注意事項:**

以下(a)のデバッグ製品と組み合わせて使用する場合に、(b)の機能を使用できない、または使用できる機能の一部に制限のあるものがあります。

**(a) デバッグ製品**

- M32C PC7501 エミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- M32C PC4701 エミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- M32C コンパクトエミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- M32C シミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- M32C FoUSB/UARTデバッグ V.1.00  
Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- M16C R8C PC7501 エミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- M16C PC4701 エミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- M16C R8C コンパクトエミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- M16C R8C FoUSB/UARTデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- M16C R8C シミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- 740 PC4701 エミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- 740 コンパクトエミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00
- 740 シミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00

- H8/300H Tiny コンパクトエミュレータデバッグ  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.01 Release 00

#### (b) 機能

- 2.1(1)項のアドレス一致ブレークポイント設定ウィンドウでサポートした  
マクロ生成支援機能
- 2.1(3)項の(a)の一部の機能
- 2.1(3)項の(g)の機能

各製品で利用できる機能については、各製品のマニュアル、リリースノート  
を参照ください。

## 2.2 改修内容

ネストした無名共用体のメンバ変数の参照に関する問題を改修しました。  
詳細は同時発行のRENESAS TOOL NEWS 資料番号070701/tn2を参照ください。

## 3. 製品の動作環境について

本バージョンからWindows Me、Windows 98、Windows 98SE、および  
Windows NT 4.0のサポートを終了しました。  
詳細はRENESAS TOOL NEWS 資料番号061001/tn6を参照ください。

## 4. アップデート方法

以下のいずれかの方法で無償オンラインアップデートができます。

- (1) 以下にあるダウンロードサイトからアップデートプログラムをダウンロード  
して実行してください（7月5日から公開予定）

[http://japan.renesas.com/hew\\_download](http://japan.renesas.com/hew_download)

- (2) オートアップデートユーティリティを使用してアップデートしてください。  
（7月6日から開始予定）

オートアップデートユーティリティ V.1.00.00~V.1.03.00をご使用の  
場合、先にオートアップデートユーティリティ V.1.04.00\*へアップデート  
してください。その後、High-performance Embedded WorkshopをV.4.03.00  
へアップデートしてください。

\*オートアップデートユーティリティは、7月1日にV.1.04.00へリビジョン  
アップされました。詳細は同時発行のRENESAS TOOL NEWS 資料番号  
070701/tn1を参照ください。

### 注意事項:

- (1) アップデートプログラムには、フルアップデートプログラムと差分アッ  
プデートプログラムがあります。
  - (a) フルアップデートプログラム  
High-performance Embedded Workshop V.3.00.00以降に変更のあった  
High-performance Embedded Workshopのコンポーネントをアップデート

します。V.3.00.00以降のバージョンがインストールされている場合にアップデートできます。

(b) 差分アップデートプログラム

High-performance Embedded Workshop V.4.02.00以降に変更のあったHigh-performance Embedded Workshopのコンポーネントをアップデートします。V.4.02.00以降のバージョンがインストールされている場合にアップデートできます。

なお、差分アップデートプログラムには、マニュアルおよびマニュアルナビゲータで参照するMSFファイルは含まれていません。

マニュアルは、ドキュメントアップデートを使用してダウンロードするか、もしくはこちらからマニュアルをダウンロードしてください。

(7月5日から公開予定)

マニュアルナビゲータを使用してマニュアルを表示する場合は、フルアップデートプログラムでアップデートしてください。

(2) 本アップデートではHigh-performance Embedded Workshop以外のコンポーネント（Cコンパイラ、エミュレータデバッガなど）はアップデートされません。

---

**【免責事項】**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。